

歯 車

河北町立西里小学校 学校便り

発行:校長 石澤友章

令和5年1月31日



新しい年を迎えて

令和5年が始まりました。おかげをもちまして子どもたちも教職員も、年末年始の休みを大過なく過ごすことができたことを嬉しく思います。令和5年は「癸（みずのと）卯（う）」の年です。「癸」は「春の間近でつばみが花開く直前」、「卯」は「冬の門が開き、飛び出る」という時期であり、合わせると「これまでの努力が花開き、実り始める」といった意味となり、縁起の良い年なのだそうです。令和5年という年が、この3年間に失われてきた日常を取り戻し、子どもたちにとって兎のように飛び跳ねる飛躍の年となることを願うばかりです。

さて、3学期は48日間。今の学年の仕上げと、次の学年の準備期間です。始業式では「3学期は次の学年の0学期」という話をしました。短い0学期を有意義なものとするポイントを以下のように提示しました。

48日間の0学期を過ごすのに大切なこと

- ① **見つめる** ⇒ 「今の自分」 「なりたい自分・めざす4月の姿」
- ② **その姿に近づくためのめあてをたてる**（できたかどうか自分ではっきりわかる具体的なもの）
⇒ 行動にうつす あきらめずに続ける

2学期の学校だよりでも紹介した、高橋結音さん（5年生）の2学期の振り返りは、まさにこれにぴたりとあてはまるものだったと改めて思います。結音さんは「国語が苦手で、文を読むのが不得意」と今の自分を見つめ、「得意になりたい」となりたい自分を思い描き、「家で30分間本を読む」という具体性のあるめあてをたてました。「途中いやになることもあったけれど」あきらめずに行動にうつし続けた結果、「国語のテストの点数が伸びる」という成果に結びつけたのです。子どもたちには「自分だったら」どうするかを考えてゼロ学期のスタートを切ってほしいことを伝えました。

昔から「一年の計は元旦にあり」と言います。これは「一年のことは年の初めの元日に計画を立てて行うことが大事、しっかりとした計画のもと着実に行う」ということです。現代科学では、それを裏付けるような研究成果が発表されています。アメリカ・ペンシルベニア大学教授で行動科学者のミルクマン博士が提唱している「フレッシュスタート効果」です。簡単に言うと、「特別な日から目標を決めて取り掛かると習慣が続き、目標が達成しやすくなる」というものです。中でも最もフレッシュスタート効果が大きくなるのは新年とのことです。新年は「やり直し」の心理を与えてくれる効果があるとのことですが、それに限らず、月初めや週初め、誕生日や年度初めなど、本人が新しいスタートだと思える日であれば一定の効果があるそうです。学校でも、子どもたちの今年度の有意義なしめくくりを全職員で力をあわせて支えていきたいと思っています。

最近、全国的に児童生徒の安全を脅かす事案が発生しています。本県でも、先日、朝の登校時間帯に子どもに危害を加えるという不審メールが確認されました。保護者の皆様には、注意喚起と可能な限りのご協力をお願いしたところ、当日、外まで出て子どもたちを見守ったり、一緒に歩いて学校まで付き添ってくださったり、車で送ってくださったりと自主的な判断で、子どもたちの安全を第一に考えた行動をとってくださいました。私たちは、皆様の子どもを思う心と行動力に支えていただいていることを改めて実感したところです。誠にありがとうございました。本年も変わらず、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



書き初め大会
 1月10日(火)に書き初め大会を行いました。子供たちは、心を込めて、力強く書き上げました。2月9日(木)の授業参観日まで食堂に掲示しています。その折に、ぜひご覧ください。



1・2年チューブ滑り(朝日少年自然の家にて) 1月19日(木)



3～6年スキー教室(Asahi自然観スキー場にて) 1月27日(金)

令和5年 2月の行事予定

1	水	安全点検	16	木	
2	木	就学時オリエンテーション	17	金	
3	金		18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	
6	月	職員会議	21	火	6年生を送る会
7	火	里の子朝会 3年遊蔵見学	22	水	学校保健委員会 PTA三役会 子ども文庫
8	水		23	木	(祝) 天皇誕生日
9	木	授業参観・学年懇談会・学年総会・PTA常任委員会	24	金	児童委員会(最終)
10	金	学校集金振替日	25	土	
11	土	(祝) 建国記念の日	26	日	
12	日		27	月	職員会議
13	月	研究推進委員会	28	火	里の子朝会
14	火	交通指導員さん感謝の会	3月17日(金)修了式 18日(土)卒業証書授与式 27日(月)離任式		
15	水	学校運営協議会			